

そこは、まかせてちょうオだい。

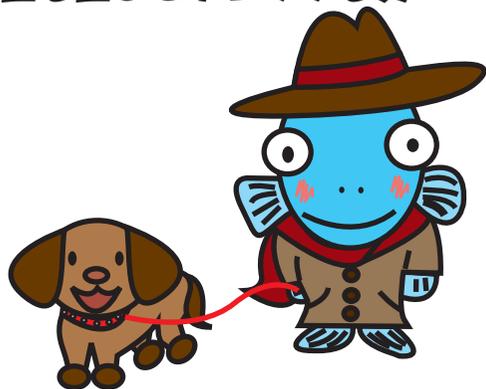
地区計画等を定めることを専門用語で都市計画決定するといいます。業界用語では、都決（とけつ）するといいます。吐血（とけつ）ではありません。

（このネタは、過去に発行された「みんなにわかる都市計画用語集」でも使われていますが・・・）

地区計画を決定するための簡単な流れとして、この舞蝶寺町のように、住民の皆さん自らが地区の問題点や課題を基に、将来どのようなまちにするか話しあった上で、地区の特性に合ったルールづくりを行政とともにを行い、地区の皆さんにルールの報告や説明、意見の募集等を行います。

そして、都市計画審議会という専門家、議員や公募委員で構成される会議で審議してもらい、私たちのまちのために良い計画だという判断をもとに、都市計画決定します。

都決されると、このエリアで建築物を建てる時などに市役所に届出を出してチェックを受ける必要があります。



杉：う～ん。ややこしいですねえ。でも、自分達の街にきめ細やかな独自のルールを決められるなら、価値はありますね！

その後、杉木一家は舞蝶寺町を満喫し、帰りの電車に乗った。いつもなら、駅からバスで帰る家までの道。今日は、自分達のまちを歩いてみようかと満場一致で決まった。

杉：自分達の住む地域に独自のまちづくりのルールかあ。いいよなあ！

杉妻：いいわあ、それ！お花だらけのまちにするの！建物は全部ピンクよ！

ゆ：オモチャだらけのまちのほうがいいよ！

杉：いやいや・・・、俺みたいな素人でも、それは地区計画ではきめられんのはわかるぞ



ゆ：じゃあ、お父さんはどんなまちにしたいんだよお！

杉：そら、私達の住む街では、「住宅の1階部分を必ず居酒屋にしなければならない」街やな！

ゆ：それは、子供でも地区計画とは関係ないの
がわかるよ！

杉妻：本当、考えがないわねえ！

よし、今日はせっかくだし、焼肉行こう！肉計画だあ！

と、いつもの光景どおり、ご機嫌で苦しいギャグを言う父を見ながら、いつもの光景には無い久しぶりに手をつなぐ父と母に気付かないふりをしてあげる紳士なゆきじだった。



みんなが手をつなぎあったら
まちはひとつになるんだね。

次回、STORY11
乞うご期待♪